

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

労働環境対策事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通して就労支援を図るため。

効果 勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

【 事業の内容 】

- ・労働環境調査を行い、市内事業所の労働実態を把握するとともに労働問題への啓発を図った。
- ・求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- ・勤労者等に向けた労働相談事業等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,469	11,469	3,640		7,829
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		60	58
13節	就労困難若年者支援業務委託料		495	495
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料		396	396
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料		159	121
	労働相談業務委託料		330	330
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		115	115
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)		330	330
	生涯現役促進地域連携鎌倉協議会負担金		9,584	1,795
<主な特定財源>				
	・国県支出金			330

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境の向上及び福祉増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う団体等に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,280	31,094	31,094		0
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金			267	381
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金			530	530
県駐労福祉センター運営費補助金			33	33
労働祭補助金			300	0
鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150	150
21節 中央労働金庫預託金			30,000	30,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(4.4~5.3)		貸出残高(5.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	2	1,910,000	23	17,988,299

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,757	19,757	18,644		1,113

<支出内訳>

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

当初予算額

19,757

支出済額

18,644

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
766	652	468		184
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 8人		30	24
8節	技能者表彰記念品等報償費		100	28
11節	消耗品費		30	10
14節	技能祭機材貸借料		336	186
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	220

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課(勤労者福祉担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	23,632	23,399
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 3人	11,465	11,500
・ 3節 職員手当等	8,251	7,965
扶養手当	136	0
地域手当	1,720	1,725
通勤手当	321	401
超過勤務手当	375	615
休日給	31	0
期末勤勉手当	5,092	5,224
住居手当	396	0
児童手当	180	0
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	3,916	3,934

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	2,962	2,385
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 2人	1,975	1,954
・ 3節 職員手当等 期末手当	396	391
・ 4節 共済費	317	0
市町村職員共済組合負担金	60	0
社会保険料	239	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	274	40

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。
- ・ 市町村や農地バンク等の関係機関との情報共有を促進するため、前年度からの繰越明許費により国庫補助でタブレット端末を購入し、導入に向けた準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,506	16,786	11,480		5,306
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	農業委員会委員報酬 13人		13,607	9,297
8節	収穫まつり入賞記念品		5	5
9節	農業委員費用弁償		43	13
	事務局職員普通旅費		65	9
11節	消耗品費(前年度からの繰越明許費)		0	217
	消耗品費		300	221
	農機具等修繕料		100	0
12節	タブレット通信料		588	41
13節	農地管理システム地図データ変換業務委託料		121	121
14節	農地管理システム使用料		1,567	1,448
19節	遊休農地解消対策協議会等負担金		110	108
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,574

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体等から組織する協議会において、鎌倉市農業振興ビジョンの見直しについて協議を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付するとともに、鎌倉ブランド堆肥事業を支援し、農業の振興を図った。
- ・ 鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,723	29,723	11,906		17,817
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬 5人		156	42
8節	鎌倉市農業振興協議会委員等報償費		270	170
11節	消耗品費		151	150
13節	ブランド堆肥化事業業務委託料		4,000	545
19節	農業関係団体負担金		196	165
	農業振興事業費補助金		2,450	10,834
	新規就農者確保支援事業交付金		1,500	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			8,384

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・市が運営する大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
892	892	891		1

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 市民農園耕作指導報償費	504	504
13節 市民農園草刈等業務委託料	388	387

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農道整備事業

農水課

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。

効果 生産性の向上、農業経営の安定化

【 事業の内容 】

・ 鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、前年度からの繰越明許費により農道整備工事を行った。また、農道の維持管理に必要な管理図面の作成も併せて行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,265	64,334	47,145		17,189
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
13節	管理図面作成業務委託料		765	639
15節	農道整備工事請負費(前年度からの繰越明許費)		0	46,479
19節	農道整備補助金		500	27
<主な特定財源>				
	・国県支出金			31,675
	・地方債			12,400

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・稚魚放流に係る経費など、栽培漁業の推進に必要な経費への補助を行った他、燃油価格の高騰を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した漁業協同組合への補助金の交付を行った。
- ・各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。
- ・漁業者・学識経験者等から組織する鎌倉市水産業振興計画推進委員会は、調査審議する事項が無かったため、開催を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,745	12,745	7,252		5,493
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬		68	0
11節	消耗品費		77	76
19節	神奈川県水難救済会等負担金		300	300
	漁業施設等災害支援金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,644
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	5,076
	水産多面的機能発揮対策事業補助金		300	156
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,220

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び腰越漁港機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越漁港内の安全管理のため、落石防護柵の設置に向けた設計を行った。
- ・ 腰越海岸からの飛砂防止のため、堆積砂の搬出や海浜整地といった腰越海岸の維持管理を行った。また、台風の影響で神戸川の河口付近に堆積した土砂等を緊急で除去した。
- ・ 廃棄物処理についてはタイヤ等の産業廃棄物の漂着ゴミ等がなかったため実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,039	35,039	23,854		11,185
< 支出内訳 >				
			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		636	603
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,893	0
	腰越漁港落石防護柵設計業務委託料		7,084	3,969
	漁港区域内廃棄物処理業務委託料		116	0
	腰越海岸堆積砂搬出業務委託料		24,310	19,030
	土砂等除去業務委託料		0	252

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁業支援施設整備事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの支援策を実施するため。

効果 支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁業支援施設整備についての事業計画書案を作成した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、水産庁等関係者との協議を行い、漁港区域を指定した。
- ・ 事業評価書については、水産土木の知識を有する職員が配置され、独自で作成することができたため、予算については未執行となった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,616	13,616	11,616		2,000
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	漁港区域指定図書作成等業務委託料		6,908	6,908
	漁業支援施設事業計画書作成等業務委託料		4,708	4,708
	漁業支援施設事業評価書作成業務委託料		2,000	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商工業振興計画の策定を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
983	983	771		212
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業振興計画推進委員会委員報酬 9人		216	246
11節	消耗品費		93	7
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		411	407
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		77	62
	姉妹都市物産展チラシ作成業務委託料		186	49

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(消費生活担当)

市民防災部商工課(商工担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	58,204	55,403
・ 2節 給料 一般職	28,145	26,093
一般職職員 6人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	20,537	20,159
扶養手当	769	745
地域手当	4,466	4,174
通勤手当	540	456
超過勤務手当	1,344	496
休日給	0	27
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	10,939	11,050
住居手当	947	1,385
児童手当	545	840
・ 4節 共済費	9,522	9,151
市町村職員共済組合負担金	8,729	8,674
社会保険料	725	422
雇用保険料	68	55

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

○行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課

市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	16,694	15,017
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	12,511	11,913
会計年度事務補助職員 2人		
統括消費生活相談員 2人		
消費生活相談員 5人		
・ 3節 職員手当等	2,570	2,302
期末手当		
・ 4節 共済費	317	0
市町村職員共済組合負担金	60	0
社会保険料	239	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費	1,296	802
費用弁償		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者等の健全な発展及び振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
312,500	312,500	309,427		3,073
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	信用保証料補助金		7,500	4,925
	経営安定資金融資利子補給金		5,000	4,502
21節	中小企業融資預託金		300,000	300,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 44件			
	融資金額 204,700千円			

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	商工会議所運営費補助金		6,935	6,935
	商工業振興事業等補助金		553	553
	中小企業経営支援事業補助金		7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街団体

意図 商店街団体が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 専門家の助言を必要とする商店街団体に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の全額を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,362	18,674	11,898		6,776
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	商店街アドバイザー派遣謝礼		200	75
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		6,500	6,812
	商店街活性化事業費補助金		5,679	2,136
	商店街共同施設設置費補助金		4,273	1,165
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,405

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源等を活用して創業する者に対し、事業化に要する経費の一部を助成するとともに、円滑に事業を実施できるようアドバイザーを派遣した。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する研究、情報発信等を行った。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業の経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・情報通信業等が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内事業者を支援するため、キャッシュレス端末を活用した経済対策に要する経費を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
287,087	286,775	277,090		9,685
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 4人		47	32
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		25	25
	商工業元気アップ事業認定事業者アドバイザー派遣謝礼		132	132
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		858	858
	企業立地施策に係るリーフレット作成業務委託料		274	231
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	2,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		110	169
	環境共生施設整備費補助金		3,000	822
	経営基盤強化事業費補助金		1,500	1,298
	企業立地整備費等補助金		12,000	4,382
	鎌倉応援キャッシュレス割引キャンペーン事業費補助金		267,100	267,100

<主な特定財源>

・国県支出金

257,716

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。
- ・ 公衆浴場の原油価格の急騰に伴う光熱費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
629	3,376	2,451		925
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 公衆浴場設備整備費補助金				629 542
公衆浴場における原油価格高騰対応補助金				0 1,909
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				2,309

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

効果 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫コンペティション、小中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,132	4,212	4,060		152
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費			500	437
鎌倉彫振興事業所維持修繕料			300	292
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料			24	24
13節 鎌倉彫振興事業所警備委託料			117	116
19節 伝統的工芸品産業振興協会負担金			50	50
伝統鎌倉彫振興事業補助金			3,141	3,141

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

消費者自立支援事業

【 地域共生課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 消費者被害を未然に防ぐため、出前講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・ 消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行い、解決が困難なものについては消費生活紛争調停委員会の調停に付した。
- ・ 事業者等との連携、協力(くらし見守りネットワーク)により、市民の日常生活の変化から消費者被害等を発見し、早期の支援に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,132	1,132	678		454
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消費生活委員会委員等報酬		246	0
	消費生活紛争調停委員会委員報酬 2人		30	22
8節	暮らしのニュース執筆謝礼等		160	60
9節	消費生活相談員費用弁償		99	43
11節	消耗品費		90	90
	印刷製本費		128	99
12節	電信料		42	41
13節	消費生活相談員助言委託料		297	297
19節	消費生活相談員研修負担金		40	26

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

エシカル消費推進事業

【 地域共生課 】

※重点事業(事業CD:6-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。

効果 エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

【 事業の内容 】

- ・エシカル消費等に関する講演会等を行い、広く情報を発信した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
230	230	178		52
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節 鎌倉市エシカル消費推進アドバイザー等謝礼				200 150
14節 会場使用料				30 28
<主な特定財源>				
・国県支出金				89

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○観光振興の推進

観光運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,069	1,569	1,371		198
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 9人		150	85
11節	消耗品費		209	76
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	500
	神奈川県観光振興対策協議会等負担金		710	710

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民防災部観光課・大河ドラマ担当

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	93,869	95,835
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 11人	42,930	42,373
・ 3節 職員手当等	35,669	37,612
扶養手当	1,024	1,092
地域手当	6,886	6,833
通勤手当	1,044	1,100
超過勤務手当	2,381	3,943
休日給	129	141
管理職手当	2,088	2,088
期末勤勉手当	19,323	19,571
住居手当	2,241	2,294
管理職員特別勤務手当	13	25
児童手当	540	525
・ 4節 共済費	15,270	15,850
市町村職員共済組合負担金		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	8,210	6,796
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	5,936	5,100
会計年度事務補助職員 5人		
・ 3節 職員手当等	1,189	1,020
期末手当		
・ 4節 共済費	317	269
市町村職員共済組合負担金	60	46
社会保険料	239	223
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費	768	407
費用弁償		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興事業 【 観光課 】

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光マップ等の充実を図るとともに、鎌倉市混雑可視化マップシステムを構築・運用し、観光客への適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,554	19,554	17,748		1,806
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	印刷製本費		1,164	909
12節	運搬料		3	0
13節	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		990	941
	外国語版パンフレット作成業務委託料		776	746
	課外授業ガイド作成業務委託料		568	567
	鎌倉市混雑可視化マップシステム運用・保守業務委託料		2,485	2,475
	鎌倉市混雑可視化マップシステムの構築及び運用・保守業務委託料		13,065	11,660
14節	混雑可視化デジタルサイネージ使用料		53	0
19節	車いす観光バリアフリーマップ作成事業等負担金		450	450
<主な特定財源>				
・国県支出金				8,661

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ 俳句&ハイクに負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,029	487	486		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 俳句&ハイク事業負担金	486	486
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金	1,045	0
主要観光行事安全対策負担金	12,498	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉の観光に係る様々な情報を効果的に発信するため、観光ウェブサイトの運営を連携して行い、観光客の利便性の向上を図った。
- ・ 鎌倉市観光協会の運営や公益事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,934	49,934	47,051		2,883
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 インターネットを活用した情報発信事業負担金			3,866	3,703
鎌倉市観光協会運営費等補助金			46,068	43,348

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

大河ドラマ事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 大河ドラマ放送を契機として地域活性化を図るとともに、地域住民に対しては歴史認識を深め、鎌倉の魅力を見直し再発見できるような情報発信を行い、住み続けたいまちづくりに貢献する。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、交流人口の増加等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会の事務局として、協議会の事務運営を行い、協議会が行う大河ドラマ館の運営や情報発信事業を支援した。
- ・大河ドラマに関連する鎌倉の魅力発信を行うため、ホームページの運用やシンポジウムの開催を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
339,504	338,221	311,472		26,749
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	シンポジウム出演者謝礼		500	0
11節	消耗品費		200	20
	印刷製本費		666	0
13節	シンポジウムポスター等デザイン業務委託料		319	0
	シンポジウム会場看板等作成業務委託料		88	0
	シンポジウム出演者派遣委託料		660	0
14節	シンポジウム会場使用料		244	283
18節	展示ケース購入費		495	489
19節	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会負担金		336,332	310,680

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光案内所運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,152	23,152	23,115		37
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	電信料		120	98
13節	観光案内所業務委託料		20,730	20,730
14節	観光案内所ブース賃借料		2,178	2,178
	観光案内所デジタルサイネージ使用料		64	63
19節	観光案内所電気使用料負担金		60	46

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光施設整備事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,750	54,946	42,845		12,101
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		91	73
	光熱水費		1,340	843
	公衆トイレ等維持修繕料		6,547	3,811
12節	電信料		845	845
	備品倉庫消防設備点検手数料		14	13
13節	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料		1,078	977
	観光案内板等作成委託料		2,384	2,317
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料		871	871
	公衆トイレし尿処理委託料		1,695	1,610
	海岸公衆トイレ汚水槽等維持業務委託料		936	868
	海岸公衆トイレ汚水槽汚泥処分業務委託料		127	126
	極楽寺駅公衆トイレ清掃業務委託料		401	401
	公衆トイレ改築工事設計業務委託料		5,000	3,740
	滑川レストハウスアスベスト調査委託料		509	407
	公衆トイレ特殊清掃業務委託料		497	429
	鎌倉海岸下水道排水設備等設計業務委託料		30,000	23,399
	材木座公衆トイレアスベスト含有調査業務委託料		0	177
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料		1,122	1,122
	屋外ライブカメラ等賃借料		239	238
15節	材木座公衆トイレ解体工事請負費		12,804	0
19節	ハイキングコースパトロール事業等負担金		750	578
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金		500	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,525

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

海水浴場運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。
- ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
114,328	110,127	107,326		2,801
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		266	242
	燃料費		16	0
	印刷製本費		105	90
	光熱水費		15	15
12節	電信料		137	96
13節	海水浴場監視業務等委託料		36,816	36,816
	砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料		7,282	6,930
	コースロープ設置及び撤去業務委託料		1,542	1,542
	仮設木橋設置等委託料		2,750	2,750
	海水浴場水道管敷設等委託料		732	732
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料		418	418
	看板作成委託料		504	91
	海水浴場開き式会場設営等委託料		166	166
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		99	99
	海水浴場警備業務委託料		14,023	11,381
	海水浴場水質調査業務委託料		73	0
	ゴミ箱設置業務委託料		517	499
	ゴミ収集庫運搬・保管業務委託料		429	429
	海岸整地業務委託料		1,430	0
	バリアフリービーチ対応業務委託料		486	486
	電気設備等設置業務委託料		5,671	5,671
	ゴミ資源化回収業務委託料		6,184	5,942
	ゴミ収集・運搬業務委託料		13,387	13,387
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料		19,800	18,240
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金		480	304
	2市1町マナーアップ推進協議会負担金		1,000	1,000

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

がけ地対策事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
133,433	151,499	129,141		22,358
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		70	69
19節	急傾斜地防災工事負担金		62,934	77,853
	神奈川県治水砂防協会等負担金		379	379
	既成宅地等防災工事費補助金		70,000	50,840
	既成宅地等防災工事費利子補給金		50	0
<主な特定財源>				
	・ 地方債			73,900

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費
 ◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業 【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】
 将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】
 対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】
 ・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,582	1,582	918		664

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	570	555
	放射性物質測定装置修繕料	649	0
13節	放射性物質測定装置点検委託料	363	363

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い、境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,087	66,087	53,728		12,359
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	横浜地方法務局資料閲覧等手数料		10	0
13節	境界確定等測量・調査業務委託料		45,972	36,019
	境界立会78回、打合せ協議15回、境界点測量331点			
	石標埋設47本、金属標埋設68枚			
	4級基準点測量2,409.1m及びび94点			
	確定図作成60,836.9㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		11,679	9,695
	境界立会9回、打合せ協議2回、境界点測量34点			
	石標埋設32本、金属標埋設20枚			
	4級基準点測量108.5m及びび8点			
	確定図作成10,598.5㎡外			
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		13,400	8,013
	道水路用地購入費		26	1
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,704

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路・水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図管理システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(街区境界調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,428	47,982	45,891		2,091
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		1,640	1,406
13節	境界杭復元等業務委託料		32,000	30,055
	4級基準点測量3,433.4m及び99点			
	石標埋設復元61本、金属標埋設復元60枚			
	金銀埋設復元196本、境界点復元測量397点			
	検査探索1,620点、境界点測量100点外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,550	6,076
	地籍調査事業測量等業務委託料		1,672	3,704
	基準点測量業務委託料		1,705	528
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,041	3,504
	土地境界確定図管理システム賃借料ライセンス追加分		792	593
19節	神奈川県国土調査推進協議会等負担金		28	25
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,778

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。
- ・道水路許認可等を管理するための道路等占用管理システムを運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
130,575	139,461	130,414		9,047
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		500	498
	燃料費		1	0
	光熱水費		8,260	9,355
	道路管理施設維持修繕料(内訳は以下のとおり)		15,044	
	大船駅東口A1及びA2号機エスカレーター移動手摺取替業務			9,852
	大船駅東口及び西口エスカレーター機能維持修繕業務			1,738
	警戒標識灯修繕業務 外10件			1,767
12節	電信料		810	712
	路上放置自動車リサイクル料		15	0
	仮処分執行の予納金の追納		0	220
	道路賠償補償保険料		853	853
13節	鎌倉駅道路管理施設清掃等業務委託料		991	940
	鎌倉駅通り抜け地下道排水ポンプディーゼルエンジン保守点検業務委託料		109	54
	鎌倉駅通り抜け地下道制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料		150	150
	大船駅道路管理施設清掃業務委託料		3,993	3,110
	大船駅管理施設警備監視業務委託料		18,753	15,890
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		660	660
	大船駅エレベーター等保守管理業務委託料		9,449	9,449
	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料		12,779	12,172
	道路維持業務委託料		10,195	15,614
	路上放置自動車処理業務委託料		10	0
	道路損傷等通報システム関連業務委託料		264	264
14節	大船駅西口交通広場用地賃借料		1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料		40,639	40,639

	道路占用等管理システム賃借料	1,791	1,790
	軽自動車賃借料	449	449
	道路占用等管理システム追加ライセンス使用料	792	593
19節	大船駅西口エスカレーター本体及び制御装置電気料等負担金	526	611
22節	道路事故賠償金	2,000	1,492

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,054	63,696	48,487		15,209
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		15,090	19,356
	街路照明灯維持修繕料		4,550	987
	街路照明灯柱修繕料		10,000	7,211
13節	街路照明灯新設委託料		291	87
	街路照明灯撤去委託料		0	903
	街路照明灯柱点検業務委託料		20,000	15,374
14節	LED街路照明灯賃借料		4,569	4,569
	LED街路照明灯賃借料(その2)		2,554	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課 】

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)

都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課・みどり公園課(がけ地対策担当)

都市整備部のうち都市整備総務課(都市整備総務担当)・道水路管理課・道水路調査課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	690,124	673,070
・ 2節 給料 一般職	318,554	305,616
一般職職員 82人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	256,166	254,690
扶養手当	9,118	9,771
地域手当	50,933	49,147
通勤手当	8,277	7,379
超過勤務手当	18,818	21,580
休日給	273	99
管理職手当	11,864	11,748
特殊勤務手当	48	0
期末勤勉手当	137,684	137,491
住居手当	14,811	12,360
管理職員特別勤務手当	40	0
児童手当	4,300	5,115
・ 4節 共済費	115,404	112,764
市町村職員共済組合負担金	114,574	112,106
社会保険料	607	372
雇用保険料	223	286

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

総務部公的不動産活用課

都市景観部のうち都市調整課・建築指導課・みどり公園課

都市整備部のうち道水路管理課・道水路調査課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	58,798	48,915
・ 1節 報酬	40,537	36,722
会計年度任用職員		
会計年度事務補助職員 20人		
会計年度公共施設調査設計業務等補助員 3人		
開発等許認可指導員 1人		
危険ブロック塀指導等補助職員 2人		
作業センター技能員 2人		
・ 3節 職員手当等	8,106	7,208
期末手当		
・ 4節 共済費	5,377	3,296
市町村職員共済組合負担金	1,006	497
社会保険料	4,065	2,467
雇用保険料	306	332
・ 9節 旅費	4,778	1,689
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・ 建築積算システム機器の賃借及び保守等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,374	8,374	7,734		640
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		1,555	1,553
	印刷製本費		62	59
13節	外壁調査業務委託料(台在宅福祉サービスセンター)		956	638
	外壁調査業務委託料(たまなわ交流センター)		981	825
	外壁等石綿調査業務委託料(台在宅福祉サービスセンター)		346	0
	外壁等石綿調査業務委託料(たまなわ交流センター)		313	0
	外壁等石綿調査業務委託料(台在宅福祉サービスセンター・たまなわ交流センター)		0	291
	外壁等石綿調査業務委託料(今泉さわやかセンター)		0	207
14節	建築積算システム機器賃借料		2,496	2,496
	営繕積算システム等賃借料		1,665	1,665

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 道路施設の維持管理に必要なシステムの運用等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,470	1,470	962		508
<支出内訳>				当初予算額
11節 一般文具等消耗品費				82
13節 道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料				479
14節 道路施設維持管理共同システム使用料				909
				448

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業 【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
184,073	184,073	113,290		70,783
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		2,515	2,004
	作業用車両燃料費		2,332	1,011
	光熱水費		134	84
	道路管理施設等維持修繕料		37,362	9,866
	消耗品等維持修繕料		180	472
	備品修繕料		500	127
	作業用車両修繕料		4,035	2,279
	医薬材料費		39	38
12節	電信料		776	533
	消防設備保守点検等手数料		31	31
	自動車自賠責保険料		21	20
13節	上町屋資材置場警備委託料		102	102
	残土処分委託料		4,838	3,194
	カーブミラー設置業務委託料		3,469	1,394
	高圧洗浄による排水管渠等浚渫清掃業務委託料		13,382	11,840
	道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料		6,945	1,973
	道路・河川清掃等業務委託料		63,520	43,119
14節	維持補修用重機賃借料		5,093	2,527
16節	補修用原材料費		35,000	29,003
18節	軽深ボディーダンプ車購入費		3,405	3,377
19節	法定講習負担金		8	7
22節	補填金		1	0
	賠償金		1	0
27節	自動車重量税		384	289
* 補修用原材料費内訳				
	アスファルト合材	460.8 t	11,040 千円	
	カーブミラー部材	74 面	4,366 千円	
	スチール透水蓋	130 個	3,347 千円	
	横断防止柵等	66 枚	1,647 千円	

車止め・分離標等	55 本	1,433 千円
生コンクリート他	1 式	7,170 千円

* 補修班による維持補修

アスファルト合材舗装工	364 m ²
アスファルト舗装打換工	46 m ²
パッチング	1,164 m ²
カーブミラー新設・補修工	207 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも
在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助したが、防災ベッド等の費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に通学路を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣、マンションの耐震診断費用の補助、耐震改修促進計画に位置付けられた耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用の補助及び耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の木造建築物を耐震改修及び除却した場合の費用については、申請がなく実施できなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,437	23,815	22,431		1,384
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	0
11節	消耗品費		106	105
	印刷製本費		25	0
13節	耐震相談業務委託料		355	250
19節	現地耐震診断補助金		3,685	1,474
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		16,000	6,200
	危険ブロック塀等対策事業補助金		37,188	14,402
	マンション耐震診断補助金		1,500	0
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		10,076	0
	避難路沿道木造建築物耐震化補助金		3,000	0
	防災ベッド等設置事業費補助金		400	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			13,639

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	80		388
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
9節	会計年度任用職員費用弁償		2	0
11節	消耗品費		461	75
19節	神奈川県九市開発許可研究協議会負担金		5	5

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・大規模盛土造成地の変動予測調査で作成した第二次スクリーニング計画において抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニング調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,553	13,553	11,039		2,514
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			163	163
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費			155	75
13節 <u>大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査委託料</u>			13,235	10,801
<主な特定財源>				
・国県支出金				5,400

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,441	9,441	7,360		2,081
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	建築審査会委員報酬 4人		288	116
	建築審査会専門委員報酬 3人		128	32
9節	建築審査会委員等費用弁償		31	0
11節	消耗品費		422	420
	印刷製本費		66	63
12節	鎌倉市建築審査会等会議録作成業務筆耕翻訳料		220	46
	特定行政庁団体賠償責任保険保険料		50	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料		6,400	5,084
	長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料		264	0
14節	建築行政共用データベースシステム利用料		1,133	1,133
	公会堂等使用料		4	0
19節	神奈川県建築コンクール負担金		105	105
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金		156	156
	日本建築行政会議等負担金		174	155

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件名	件数
建築確認	35
計画通知	2
建築許可	104
道路位置指定	2
長期優良住宅認定	240
低炭素建築物認定	45

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木総合情報管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,051	36,051	35,116		935
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		803	776
	印刷製本費		16	0
	備品修繕料		50	50
12節	電信料		296	130
	筆耕翻訳料		253	0
13節	土木総合情報管理システム保守委託料		8,063	8,063
	工事資材単価調査業務委託料		373	65
14節	土木総合情報管理システム機器賃借料		21,638	21,638
	市町村システム使用料		3,960	3,960
	電子複写機賃借料		599	434

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課(交通安全担当)

都市整備部道路課(整備担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	123,301	104,053
・ 2節 給料 一般職	53,451	43,857
一般職職員 13人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	50,328	43,492
扶養手当	2,453	2,024
地域手当	8,534	7,030
通勤手当	1,436	953
超過勤務手当	10,130	9,595
休日給	103	174
管理職手当	987	986
期末勤勉手当	22,834	19,292
住居手当	2,266	1,968
児童手当	1,585	1,470
・ 4節 共済費	19,522	16,704
市町村職員共済組合負担金	18,793	16,250
社会保険料	689	375
雇用保険料	40	79

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部都市計画課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	8,250	8,136
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	6,123	6,117
会計年度事務補助職員 1人		
交通安全教育主任指導員 1人		
交通安全教育指導員 2人		
・ 3節 職員手当等 期末手当	1,222	1,221
・ 4節 共済費	317	329
市町村職員共済組合負担金	60	46
社会保険料	239	224
雇用保険料	18	59
・ 9節 旅費 費用弁償	588	469

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通安全対策事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,582	19,582	15,254		4,328
< 支出内訳 >				
			当初予算額	支出済額
8節	自転車教室指導員謝礼		512	424
9節	交通安全教育指導員費用弁償		9	0
11節	消耗品費		427	171
12節	交通安全教室損害保険料		15	13
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	6,343
14節	軽貨物自動車賃借料		594	19
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		11,200	7,964
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

放置自転車防止事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・歩行者の安全な通行を確保するため、放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,562	45,034	44,217		817
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		77	0
	光熱水費		280	257
	放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	198
12節	電信料		42	37
13節	放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料		459	88
	放置自転車等防止対策業務委託料		48,585	41,056
14節	稲村ヶ崎駅自転車等駐車場土地使用料		354	255
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料		2,253	2,253
16節	駐輪場修繕用原材料費		103	73

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,711	6,711	6,702		9
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 延長113.1m		470	469
	カラー舗装等維持修繕料(薄層カラー舗装面積173.0㎡)		1,741	1,733
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線延長5,431.9m 文字記号延長1,702.1m)		4,500	4,500

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- 市道046-000号線外、市道038-015号線の安全対策(歩道段差等改善)工事を行った。
- 市道023-000号線の歩道整備(根上り対策)工事を行った。
- 市道202-093号線外の安全対策施設(転落防止柵等)工事を行った。
- 前年度からの繰越明許費により、市道047-066号線の植栽帯改良等工事及び市道038-015号線の安全対策(歩道段差等改善)を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,138	46,248	33,989		12,259
<支出内訳>				
15節 交通安全対策施設工事請負費			当初予算額	支出済額
内訳			39,138	33,989
梶原五丁目2番先外(市道046-000号線外)歩道段差等改善 8箇所			6,875	4,576
笛田二丁目13番先(市道043-000号線)歩道段差等改善			8,800	0
西鎌倉二丁目2番先(市道023-000号線)根上り対策 6箇所			8,470	6,735
津西一丁目9番先外(市道202-093号線外)転落防止柵設置 転落防止柵設置延長266.6m			14,993	11,500
浄明寺六丁目5番先(市道038-015号線)歩道段差等改善 11箇所			0	5,581
(前年度からの繰越明許費)				
梶原二丁目1番先(市道047-066号線)植栽帯改良等 1式			0	5,597
(前年度からの繰越明許費)				
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,611
・地方債				25,000

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・土砂や倒木の撤去等を行い、通行の安全を確保した。
- ・岡本一丁目19番先外、坂ノ下34番先の道路斜面の斜面崩落対策設計等業務を実施した。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキ修繕工事積算業務を行った。
- ・平成29年に実施した路面下空洞調査箇所の再調査を行った。
- ・市内(岩瀬隧道外1箇所)トンネルの法定点検を行った。
- ・前年度からの繰越明許費による北鎌倉隧道安全対策検討業務及び北鎌倉隧道安全対策工事実施計画検討業務については、年度内に実施出来なかった。
- ・市道027-000号線、市道060-044号線及び市道025-000号線の斜面保護等工事を実施した。
- ・市道055-000号線、市道003-007号線、市道067-000及び市道101-011号線外の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市道032-000号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、津西二丁目14番先における法面防除工事を実施したが、年度内に完了できなかったことから翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、小袋谷歩道橋において横断歩道橋修繕工事を実施したが、一部が年度内に完了できなかったことから、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
585,158	754,392	385,670	233,522	135,200
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	道路維持修繕料		10,200	7,643
13節	崩落土砂処分等業務委託料		12,200	6,602
	斜面崩落対策調査等業務委託料		17,490	9,662
	斜面崩落対策詳細設計等業務委託料		31,383	16,096
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ積算業務委託料		3,223	3,212
	路面下空洞調査業務委託料		6,204	6,398
	トンネル点検調査業務委託料		5,797	3,526
	北鎌倉隧道安全対策詳細設計等業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	0
	北鎌倉隧道安全対策工事実施計画検討業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	0
14節	工事用仮駐車場賃借料		450	1,065
15節	道路維持修繕工事請負費		196,599	173,694
	内訳			
	常盤861番地先(市道027-000号線)斜面保護工		24,882	25,179

法面工 面積568.4㎡		
今泉三丁目15番先(市道060-044号線)斜面復旧工	11,077	5,720
斜面復旧工 延長7.0m		
山崎1084番地先外(市道055-000号線)舗装切削、舗装打換	44,165	24,559
舗装工 延長187.7m 面積1,788.0㎡		
材木座六丁目6番先(市道003-007号線)舗装打換	18,766	15,957
舗装工 延長180.4m 面積590.0㎡		
高野17番先(市道205-172号線)舗装工	19,503	0
手広二丁目32番先(市道202-042号線)土留め工	8,822	0
腰越二丁目1番先(市道067-000号線)舗装切削	26,180	15,853
舗装工 延長281.4m 面積1,577.9㎡		
手広二丁目8番先(市道041-000号線)舗装切削、舗装打換	28,204	0
舗装打換・排水整備等要望箇所	15,000	11,984
舗装工 延長160.7m 面積917.8㎡		
鎌倉山一丁目28番先(市道025-000号線)斜面保護工	0	53,260
法面工 面積36.1㎡		
小町一丁目5番先(市道032-000号線)(前年度からの繰越明許費)	0	21,182
舗装工 延長588.2m 面積2,821.0㎡		
法面災害防除工事(翌年度への事故繰越し)	0	0
(前年度から繰越明許費)		
19節 JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	27,000	15,722
横断歩道橋維持修繕工事負担金(小袋谷歩道橋)	274,612	139,903
(翌年度への繰越明許費)		
横断歩道橋維持修繕工事負担金(小袋谷歩道橋)	0	2,147
(前年度からの繰越明許費)		
<主な特定財源>		
・国県支出金		73,096
・地方債		262,500

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事については、入札不調等により工事を実施できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・幹線道路の道路舗装修繕計画策定業務を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,216	35,024	2,730	32,175	119
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	道路舗装修繕計画策定業務委託料		2,849	2,730
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		59,367	0
	内訳			
	寺分三丁目9番先(市道047-044号線外)舗装打換 (翌年度への繰越明許費)		32,175	0
	坂ノ下33番先(市道010-063号線)舗装打換		27,192	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・劣化が著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。
- ・橋りょうの機能保持のため点検調査を行った。
- ・鶴舞田歩道橋外6橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。
- ・神戸川5号橋の鋼部材の塗膜調査業務を行った。
- ・神戸川5号橋外3橋の修繕工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により新富岡橋の修繕工事を行った。
- ・音無橋、極楽寺橋及び岩瀬下土腐1号橋外4橋の修繕工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
239,488	290,942	139,847	107,040	44,055
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料		2,000	990
13節	橋りょう点検調査業務委託料		21,681	16,242
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(鶴舞田歩道橋外6橋)		34,837	14,678
	橋りょう塗膜調査業務委託料		823	340
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		180,147	107,597
	内訳			
	稲村ガ崎三丁目4番先(音無橋)断面修復工等補修 (翌年度への事故繰越し)		60,764	23,870
	稲村ガ崎一丁目15番先(極楽寺橋)断面修復工等補修 (翌年度への事故繰越し)		46,684	17,890
	津西一丁目4番先外(神戸川5号橋外3橋)断面修復工等補修		53,515	17,001
	岩瀬1131番地先外(岩瀬下土腐1号橋外4橋)断面修復工等補修 (翌年度への繰越明許費)		19,184	0
	台一丁目2番先(新富岡橋)橋面防水等補修 (前年度からの繰越明許費)		0	48,836
<主な特定財源>				
	・国県支出金			46,123
	・地方債			80,100

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,488	1,488	1,485		3
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費		240	240
11節	消耗品費		19	17
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料		1,229	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課(河川担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	32,867	22,876
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 3人	15,861	10,835
・ 3節 職員手当等	11,589	8,353
扶養手当	497	587
地域手当	2,455	1,713
通勤手当	465	352
超過勤務手当	1,033	422
休日給	27	0
期末勤勉手当	6,022	4,866
住居手当	670	323
児童手当	420	90
・ 4節 共済費	5,417	3,688
市町村職員共済組合負担金	5,084	3,688
社会保険料	314	0
雇用保険料	19	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,797	1,391
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	1,113	1,113
・ 3節 職員手当等 期末手当	223	223
・ 4節 共済費	317	0
市町村職員共済組合負担金	60	0
社会保険料	239	0
雇用保険料	18	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	55

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 河川管理施設等の維持修繕工事を行った。
- ・ 準用河川等の浚渫を行った。
- ・ 準用河川等の除草、枝払い等を行った。
- ・ 浸水被害解消に向け、雨水排水施設(普通河川滝ノ川)の実施設計を行った。
- ・ 浸水被害解消に向け、雨水排水施設(明月川排水区)の維持修繕工事を行った。
- ・ 護岸が崩壊した普通河川二階堂川の本復旧工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、護岸が崩壊した準用河川砂押川の本復旧工事を行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加し、その活動により治水及び利水事業の促進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,975	192,484	169,140		23,344
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設等維持修繕料		8,500	10,450
13節	準用河川等浚渫業務委託料		48,015	42,860
	準用河川除草・枝払い等業務委託料		4,500	1,648
	河川維持修繕実施設計業務委託料		16,577	8,378
15節	河川維持修繕工事請負費(普通河川二階堂川)		24,717	22,487
	河川維持修繕工事請負費(山ノ内96番地先:明月川排水区)		18,612	19,616
	河川維持修繕工事請負費(準用河川砂押川)(前年度からの繰越明許費)		0	63,278
19節	神奈川県河川協会負担金		54	54
22節	補償、補填及び賠償金		0	369
<主な特定財源>				
	・地方債			56,900

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池の浚渫を行った。
- ・ 雨水調整池の除草、枝払いを行った。
- ・ 監視カメラの設置を行った。
- ・ 雨水施設に係る包括的民間委託を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,607	33,607	24,570		9,037
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		105	103
	印刷製本費		17	15
	雨水調整池管理施設維持修繕料		1,500	952
	器具等修繕料		76	76
13節	雨水調整池浚渫業務委託料		22,726	15,831
	雨水調整池除草・枝払い等業務委託料		1,800	1,150
	河川等監視カメラ・架台等据付業務委託料		3,300	2,407
	下水道管路施設等包括的民間委託料		1,062	1,061
14節	河川等監視カメラ・データ使用料		2,684	2,962
	軽貨物自動車賃借料		337	13

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。
- ・ 緑地の維持管理に係る相談を所有者等から受け、現地確認の上助言を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,127	1,127	911		216
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 10人		306	102
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
	緑地維持管理相談専門委員報酬 1人		102	102
9節	緑地維持管理相談専門委員交通費		12	6
11節	消耗品費		54	51
	印刷製本費		63	60
19節	森林協会等負担金		182	182

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出がされた土地を、都市緑地法第17条に基づき買入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,311	41,311	40,096		1,215
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料		1,544	330
17節	鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費		39,767	39,766
<主な特定財源>				
	・国県支出金			21,871
	・地方債			16,100

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・ 市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・ 敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,888	3,888	1,794		2,094

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 緑化啓発に関する業務委託料	1,699	1,699
19節 まち並みのみどりの奨励事業補助金(件数=2件 総延長=9.7m)	949	95
まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分) (件数=0件)	1,240	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 民有緑地を将来にわたり良好に保全するため、当該緑地の所有者等に対し維持管理に要した費用の一部を助成した。
- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
90,882	90,882	72,698		18,184
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		45	38
13節	緑政業務支援GIS保守業務委託料		946	770
	(仮称)市民の身近な森づくり事業委託料		3,000	2,690
	つながる募金サービス利用料		27	1
19節	保存樹木奨励補助金 54件 278本		589	500
	保存樹林奨励補助金 153件 2,226,384.39㎡		12,590	11,756
	保存生け垣奨励補助金 92件 8,277.95㎡		796	684
	緑地保全契約奨励補助金 94件 460,529.41㎡		7,624	6,864
	民有緑地維持管理助成事業補助金 59件 160,062㎡		52,562	36,336
25節	緑地保全基金利子積立金		3	4
	緑地保全基金寄附等積立金		12,700	13,055

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,582	24,582	23,022		1,560
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	風致保存会運営費補助金		10,382	10,382
25節	風致保存基金寄附等積立金		7,100	6,320
26節	風致保存会寄附金		7,100	6,320

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・長谷・極楽寺地区及び佐助・御成地区において、対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,290	26,290	20,583		5,707

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額

26,290

支出済額

20,583

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 緑地内の倒木により周辺に影響が生じたため、緊急で樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を予定していたが、工事における調整に時間を要したため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
105,705	105,705	81,290	8,470	15,945
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		7	7
	光熱水費		60	41
	管理施設維持修繕料		3,641	3,477
12節	電信料		48	37
	緑地に関する賠償補償保険等保険料		1,068	881
13節	緑地維持管理委託料		84,257	71,899
	山ノ内宮下小路緑地維持管理業務委託料		3,652	427
	常盤山管理棟警備委託料		102	91
15節	緑地維持管理工事請負費(翌年度への繰越明許費)		12,870	4,400
22節	緑地管理に起因する損害賠償金		0	30
<主な特定財源>				
	・地方債			3,300

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理計画推進事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理を図るため。

効果 市有緑地のライフサイクルコストの縮減と安全性の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 落石防護柵やフェンス等、緑地に設置された施設の更新、修繕を年次計画に基づき行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,904	7,904	6,262		1,642
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	管理施設維持修繕料			4,901 3,860
13節	緑地維持管理委託料			3,003 2,402

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観の形成

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 良好な都市景観の形成

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 屋外広告物の規制についての普及啓発を行うとともに、鎌倉市屋外広告物条例を運用し、適正な規制・誘導を行った。
- ・ 景観上重要な建造物等の保存活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,786	25,784	23,999		1,785
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	景観審議会委員報酬 10人		306	276
8節	景観アドバイザー等報償費		102	51
11節	消耗品費		47	46
	印刷製本費		1,252	537
	旧村上邸各所修繕料		495	493
12節	筆耕翻訳料		134	71
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料		12	6
13節	違反屋外広告物運搬処分業務委託料		41	0
	庭園等管理(樹木管理)作業委託料(旧村上邸)		700	681
	景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料		761	416
	若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン運用支援業務委託料		716	715
19節	景観重要建築物等助成金		3,000	2,000
25節	旧村上邸貸家料積立金		1,914	1,914
	景観重要建造物等保全基金運用利子積立金		4	3
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金		17,302	16,790

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
305	305	218		87
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費			53 41
	印刷製本費			115 56
	風致地区内標柱維持修繕料			102 101
19節	古都保存連絡協議会負担金			35 20
<主な特定財源>				
	・国県支出金			155

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	432		36

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 消耗品費	30	19
既存車止め等維持修繕料	158	143
12節 諸手続等手数料	5	0
13節 海岸の障害物処分等業務委託料	5	0
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金	270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者との意見交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68	68	0		68

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 技術アドバイザー謝礼

68

0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
546	546	540		6
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節	会計年度任用職員費用弁償		2	2
11節	消耗品費		272	267
12節	火災保険料		2	1
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金 【 市街地整備課 】

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,434	10,174	10,174		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
28節 繰出金				12,434 10,174

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 将来のまちづくりの指針となる「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン(案)」を策定し、公表した。
- ・ 都市再生緊急整備地域の指定に係る地域方針の策定に向けた検討を行った。
- ・ 土地区画整理事業の実施に向け、権利者との合意形成を図るとともに、事業推進に伴う調査・関係機関協議等を行った。
- ・ 土地区画整理事業計画認可に向けた調整検討を行い、事業計画認可に係る申請手続きを行った。
- ・ 深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・ 新駅詳細設計を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
72,182	67,257	60,313		6,944
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会委員報酬 7人		320	156
	都市再生緊急整備地域準備協議会委員報酬		122	0
8節	技術アドバイザー謝礼		85	82
9節	会計年度任用職員費用弁償		3	0
11節	消耗品費		417	405
	深沢地域整備事業用地維持修繕料		600	0
12節	土地一時使用賃貸借契約公正証書作成手数料		0	158
13節	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		2,717	2,145
	深沢地区まちづくりガイドライン策定業務委託料		24,959	24,959
	橋りょう予備設計業務委託料		21,901	17,547
	深沢地域整備事業区域調査業務委託料		7,630	9,999
	深沢地域整備事業権利者等調整業務委託料		4,488	0
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	0
	新駅設置協議会負担金		40	0
	新駅詳細設計負担金		8,800	4,862

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正を行い、窓口等において活用した。
- ・都市計画業務支援システムを活用し、業務効率化を図った。
- ・最新の都市計画情報を公開型GISシステムとして継続的に公開した。
- ・県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,472	3,580	3,205		375
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 12人		528	204
11節	消耗品費		340	340
	印刷製本費		1,947	54
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料		671	671
	都市計画関連データ等修正業務委託料		847	847
	都市計画情報提供サービス運用委託料		264	264
	都市計画業務支援システムMicrosoftEdge対応改修業務委託料		440	440
14節	都市計画業務支援システム用機器賃借料		385	385
	説明会用会場使用料		40	0
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通環境整備事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通実態を把握し交通対策上の基礎資料とするため、交通状況(渋滞・交通量)に関するデータを収集した。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,806	1,806	1,701		105

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	742	728
	印刷製本費	462	449
	パークアンドライド案内看板維持修繕料	399	321
19節	三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金	203	203

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通体系整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 短期的観光渋滞対策として、リアルタイムの交通量計測等を行うために、市内交差点付近に、屋外用IPカメラ及び画像認識型交通量観測装置を設置し、計測したデータを閲覧・取得できる環境を構築した。
- ・ 短期的観光渋滞対策関連調査業務委託料の内、交通環境の改善を目指した短期的な取組については、国と調整し、事業の検討を進めてきたが、調整が整わず、年度内の事業実施が困難となったため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
84,236	72,236	44,923	15,499	11,814
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	交通計画検討委員会委員報酬	378	0	
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬	198	0	
8節	交通政策専門員等報償費	68	0	
9節	交通計画検討委員会委員等費用弁償	13	0	
11節	印刷製本費	500	19	
	歩行者尊重道路整備等修繕料	500	0	
12節	電信料	0	24	
13節	鎌倉市交通計画検討委員会等に係る資料作成等業務委託料	3,140	0	
	短期的観光渋滞対策関連調査業務委託料(翌年度への繰越明許費)	72,499	44,880	
	交通需要管理検討業務委託料	6,900	0	
14節	会場使用料	40	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

新交通システム等整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

【 事業の内容 】

- ・二階堂・浄明寺地区において新たな交通システムの導入をめざし、自立した持続可能なインプリメント運行の構築を目的とした検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,319	8,319	7,704		615
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	学識者等謝礼			85 0
11節	消耗品費			82 59
	印刷製本費			500 0
13節	新たな交通システム等検討業務委託料			7,652 7,645
<主な特定財源>				
	・国県支出金			6,023

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

公共交通支援事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、公共交通を利用する者も減少が続くとともに、原油価格高騰の影響も受けている乗合バス事業者やタクシー事業者に対し、燃料価格高騰分の一部の補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	16,182	14,958		1,224
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 鎌倉市公共交通原油価格高騰対策補助金				0 14,958
<主な特定財源>				
・国県支出金				14,958

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74	74	70		4

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 消耗品費	17	16
14節 会場使用料	3	0
19節 関東国道協会等負担金	54	54

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)関連事業や、国・県が施工する都市計画道路等の事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23	23	23		0
<支出内訳>				当初予算額
11節 一般文具等消耗品費				23
				支出済額
				23

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に加入し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78	78	78		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会等負担金				78 78

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,761	34,761	32,196		2,565
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,355	1,230
11節	花(ポット苗)購入費		360	295
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		1,108	978
	街路樹維持管理委託料		31,938	29,693

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち市街地整備課(市街地整備担当)・深沢地域整備課・

都市計画課(交通安全担当を除く)

都市景観部のうち都市景観課・みどり公園課(がけ地対策担当を除く)

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	496,217	450,404
・ 2節 給料 一般職	223,446	199,945
一般職職員 58人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	190,396	174,759
扶養手当	6,697	6,636
地域手当	35,964	32,421
通勤手当	6,283	5,954
超過勤務手当	20,604	18,993
休日給	664	123
管理職手当	9,558	9,557
期末勤勉手当	96,746	89,135
住居手当	10,444	8,275
管理職員特別勤務手当	221	280
児童手当	3,215	3,385
・ 4節 共済費	82,375	75,700
市町村職員共済組合負担金	81,949	75,172
社会保険料	314	332
雇用保険料	112	196

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費
 ◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金 【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】
 ・ 下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,176,537	3,176,537	3,176,537		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
28節	繰出金	3,176,537	3,176,537

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園維持管理事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の創造を図った。
- ・ 都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。
- ・ インクルーシブ公園改修工事については、場所の選定及び整備内容の検討に時間を要したため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
406,172	405,970	334,845	36,080	35,045
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	393	293	
	維持修繕料(公園施設長寿命化計画分)	24,346	11,447	
	維持修繕料	17,446	14,772	
12節	ボランティア保険料	21	21	
13節	都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料	215,557	215,557	
	都市公園(笛田公園)指定管理料	24,804	24,804	
	鎌倉広町緑地指定管理料	27,600	27,600	
	児童遊園等管理委託料	10,468	10,413	
	公園維持管理委託料(公園施設長寿命化計画分)	20,116	6,655	
	公園維持管理委託料	4,511	1,227	
14節	源氏山公園用地賃借料	1,000	1,000	
	児童遊園土地賃借料	13,666	12,614	
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料	5,158	5,247	
	梶原六本松公園土地賃借料	3,594	2,456	
	笛田公園野球場コートローラー賃借料	532	44	
	鎌倉海浜公園管理事務所賃借料	578	0	
	笛田公園更衣室賃借料	202	0	
15節	インクルーシブ公園改修工事請負費(継続事業・令和4年度分)	36,080	0	
19節	鎌倉海浜公園坂ノ下地区駐車場利用料補填金	0	603	
	日本公園緑地協会等負担金	100	92	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園整備事業

みどり公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・ 山崎・台峯緑地の維持管理等を行った。

・ 前年度からの事故繰越しにより、(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(土木)工事を行い、供用区域を拡大した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,411	52,985	52,791		194
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		85	84
	光熱水費		229	270
12節	ボランティア活動保険料		10	0
13節	都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託料		9,130	8,996
	山崎・台峯緑地管理事務所警備委託料		204	203
	山崎・台峯緑地(風致公園)管理業務委託料		13,842	13,842
15節	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(土木)工事請負費(前年度からの事故繰越し)		0	23,485
19節	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金一般財源相当額償還		5,911	5,911
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,900
	・地方債			10,700

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園用地取得事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

・山崎・台峯緑地(都市緑地)用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,723	20,573	18,742		1,831
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		110	108
	印刷製本費		200	159
13節	山崎・台峯緑地用地(都市緑地)不動産鑑定評価等業務委託料		1,037	472
	公共嘱託登記業務委託料		1,984	761
17節	山崎・台峯緑地(都市緑地)用地購入費		22,392	17,242
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,700
	・地方債			8,700

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅管理運営事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者募集など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
146,364	146,364	144,551		1,813
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 市営住宅入居者選考委員会委員報酬			104	0
11節 消耗品費			54	28
印刷製本費			33	0
光熱水費			0	3
市営住宅各種修繕料(深沢セントラルハイツ第305号室及び第306号室)			3,080	1,848
市営住宅各種修繕料(市営梶原東住宅1-4号)				1,310
13節 公営住宅管理システム保守点検業務委託料			523	523
市営住宅等指定管理料			46,695	46,695
市営住宅高所低木等剪定業務委託料			605	0
14節 公営住宅管理システム用機器等賃借料			808	393
福祉型借上市営住宅賃借料			92,539	92,059
19節 神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金			2	2
市営住宅管理費等負担金			1,920	1,690
22節 過少収納時補填金			1	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				24,313

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

住宅政策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
302	302	295		7

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 消耗品費	10	3
13節 居住支援業務委託料	292	292

<主な特定財源>

・国県支出金 130

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

空き家等対策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・鎌倉市空き家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,260	1,260	968		292
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬		224	0
11節	消耗品費		66	49
	印刷製本費		310	259
14節	空き家管理システム使用料		660	660

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅集約化事業

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・PFI事業により市営住宅の建替えを進めた。
- ・市営住宅の基本設計を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
192,132	188,183	164,984		23,199
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		40	34
13節	PFI事業業務委託料		168,941	154,207
	市営住宅集約化事業用地樹木伐採業務委託料		5,934	6,337
	市営住宅集約化事業用地残置物撤去業務委託料		827	480
	市営住宅用地測量業務委託料(梶原東住宅)		15,334	1,739
	市営住宅用地測量業務委託料(梶原住宅)			1,478
	市営住宅用地測量業務委託料(市営住宅集約化事業第一次事業)		0	709
22節	市営住宅入居者移転補償金		1,056	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			85,726
	・地方債			84,800

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

都市整備部都市整備総務課(住宅担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	34,209	35,623
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	16,415	16,456
・ 3節 職員手当等	12,197	13,272
扶養手当	362	361
地域手当	2,517	2,523
通勤手当	269	466
超過勤務手当	703	1,284
休日給	44	3
期末勤勉手当	6,956	7,278
住居手当	1,091	1,102
児童手当	255	255
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	5,597	5,895